

三沢市立三沢病院での外科実習を終えて

弘前大学医学部医学科5年 関島大輝

“三沢病院外科のここがすごい”。4週間の外科実習の間に多くの手術見学、回診への参加をさせていただきました。その中で気が付いた三沢病院外科の魅力や、自身の成長を以下にまとめました。

幅広い手術が学べました。大学病院では見学したことのなかった小手術から、ロボットを用いた手術まで、場所は頸部から消化管全般と幅広い領域の手術を見学させていただきました。1時間で終わる手術では硬膜外麻酔から始まりきれいな縫合結紮まで見学しました。ロボット手術では、ロボットのセッティングやアームの操作などまったく違った手術場面を見学しました。



私は外科実習が始まるまで外科は見て盗む精神が多く、指導も厳しいと勝手に思いこんでいました。しかし実際に目の当たりにしたのは、優しく、あたたかい先生方の姿でした。回診のたびに笑顔で明るく挨拶し、入室の仕方にも気を遣い、患者さんの細かい事情なども覚えている池永先生の姿は将来働く上で是非真似したいと思いました。先生の顔を見ると笑顔になる患者さんがたくさんいたことが印象に残っています。米内山先生には、自主的に考えることは大事にさせていただきながらも、技術面に関してなど細やかな指導をしていただきました。どうすれば縫合をより効率的に行えるのか、手術が終わって疲れているであろう先生にレクチャーをしていただいたこともありました。梅村先生には体調が悪い時に何度も声をかけていただきました。中野先生も、質問に対して時には本を用いてわかりやすく説明していただきました。このように患者さんにも、学生にも優しい先生方の魅力を発見した4週間でした。

私自身の成長面では、座学としての知識が臨床に結び付いたことがたくさんありました。解剖学は勉強している自負がありましたが、実際の手術場面ではテキストのような術野が出てくることはなく手術操作では何をしているかわからないことが多々ありました。切離している血管や手術中に気を付けていることを説明していただき、手術中にわかることが少しずつ増えていったことが成長として感じられました。ほとんどの手術を術野で見学したことで、手術中に先生方が気をつけている、より安全により愛護的に手術を行うための工夫や研鑽の一部を知り、職人気質も感じるこだわりを格好良いと思いました。

比較的コンパクトな病院だと思いますが、休憩中には小児科の先生、内科の先生、放射線科の先生、研修中の先生も声をかけてくださるなど、あたたかい病院であると感じたあつという間で充実した実習でした。

末筆ながら、4週間ご指導を頂いた外科の先生方、手術室、病棟、管理課を始めとす

る、三沢病院の職員の皆様方に厚く感謝申し上げます。

実習期間：2026.7.6～8.28